

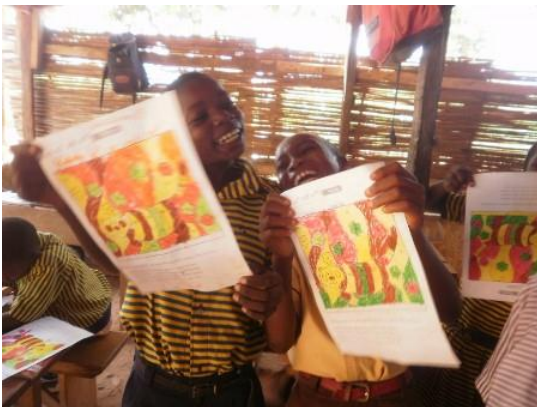
ぺんてる株式会社様協賛くれよんプロジェクト Vol.9

スポーツニクガーナ 国分 敏子

☆ ぬり絵を楽しもう ☆

デバインアカデミースクールの子どもで、自分のぬり絵を買ってもらって持っている子どもは、2・3人。ぬり絵は、かなり高価な本になります。これまで、くれよんを使ったお絵かき教室では、各クラス1回くらいの割合でぬり絵を行ってきました。もっと楽しんでもらいたいなと云う思いで、6月は(ぬり絵を楽しもう)と、アクラでぬり絵をたくさん準備して、村入りしました。

☆ こちらは、かけ算の勉強も兼ねたかけ算ぬり絵

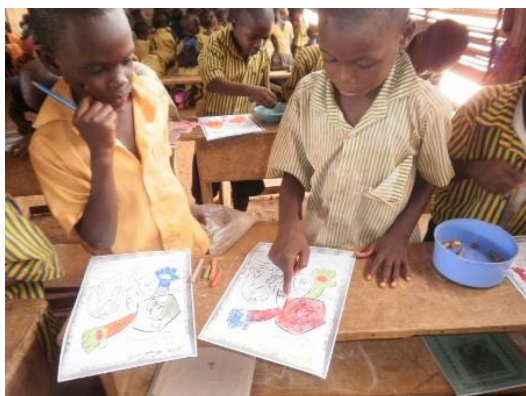


普段は、好きなものを自由に描いていいよ。好きな色を使ってもいいよ。の声掛けで、行うお絵かきも、かけ算の答えを指定された色で塗る。しかも、かけ算の段は違っていても答えが同じだと、指定された色のどちらを塗ればいいのか？いつもとは勝手が違うけれども、この番号(答え)のところは、この色で塗らなくちゃいけないのかな？・・・と子どもが考えながら、時には私がアドバイスしてわかった時の顔がうれしそうでした。

☆ なんでもガーナフラッグカラーになるところがすごい！！そしていつも鮮やか



☆ 大切に使おうね



くれよんの中には、使いこまれて短くなっていくくれよんも有れば、どこかにいってしまうくれよんもあります。頑張ってくれよんの管理はするのだけれども、まだまだ失くしてしまうことの多い、クラス1とクラス2の子どもたち。これまで、くれよんケースを各机に一つずつ置いて使用しましたが、今回は、「くれよんを使うたびに、失くなるくれよんもあるから、いまあるくれよんだけでやるよ」と声掛けのもと行いました。くれよんを配ると、自分の給食に使用するためのお皿にくれよんを入れる子どもたち。これを見て、おそらく日本にいる私ったら「その入れ物は食べる時に使うもの。これはくれよんでしょ？入れるのを止めなさい」と注意をしたことでしょう。しかし、子どもたちは、机に置かれたくれよんを転がって落とさないように、そして失くさないように子どもなりに考えたくれよんの管理方法に、感心するとともに、子どもたちに（大事なくれよんなんだから・・・）と厳しく言い続けてしまったかな・・・と反省してした場面でもありました。

☆ 大事につかっているからこそ・・・



子どもたちが使い込んだくれよん

6月のくれよんプロジェクト総参加人数 195名

報告日:2011年7月4日